



## IMSUT & RCAST GCOE 特別セミナー 〈キャリアパス支援テクニカルセミナー〉

### 「タンパク相互作用予測モデル解析演習・ 計算システム生物学演習」開催のご案内

(医科研ヒトゲノム解析センター・スーパーコンピュータ室 主催)

ヒトゲノム解析センターで利用可能な WEB サービスを使用した演習を実施致します。  
本年度は特に参加条件を設けておりません。広く皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：2012 年 9 月 27 日 (木) 13:00 ~ 17:45

場 所：東京大学医科学研究所ゲノムセンター4階セミナー室

定 員：34 名 (事前申込者を優先、空席があれば当日参加も可能)

参加費：無料

#### 13:00-15:00 タンパク相互作用予測モデル解析演習 (Ashwini 先生、藤森様)

Preparing a high-confidence list of physical and genetic interactions of proteins using multiple data sources.

タンパク質は細胞活動の中心を担っており、それらは相互作用することで複雑なネットワークを形成している。現在、それらの情報について集めたいくつかの公共データベースが存在しており、多くの研究者によって利用されている。本講習では特に、ヒトゲノム解析センターより公開しているタンパク質の相互作用領域データベースである「IRView」の使用法および、IRView に最も多く収められているデータの決定手法 (実験手法) である Invitrovirus (IVV) 法について紹介する。

#### 15:15-17:45 計算システム生物学演習 (齊藤あゆむ様)

計算システム生物学の1つの目標は、細胞内、細胞間の反応などの生体内現象をモデル化し、理解することです。この講習会では、生体内の物質の動態であるパスウェイを描く機能とシミュレーションの機能が一体となっているソフトウェア (Cell Illustrator Online; CIO) を用いて、計算システム生物学の手法について理解をします。CIO は、「生物系の研究室に所属する研究者が実験をするかわら、パスウェイの情報を知識整理し、その知識整理したモデルをシミュレーションすることで次の実験に何をするかを決められる」ことを目標として10年以上かけて開発を行っているソフトウェアです。これまでに、国内外の研究室でさまざまなパスウェイのモデルが作成され、研究論文として発表されてきています。講習会では、CIO を用いて基本的な生体内反応のモデル化の方法を学習するとともに、サーカディアンなどの特徴的なモデルのシミュレーションを行います。

申込方法: 下記フォーマットにて、9月26日 (水) 12:00 までに e-mail にてお申し込み下さい。  
e-mail: [hgc-lect@hgc.jp](mailto:hgc-lect@hgc.jp) 東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター・スーパーコンピュータ室

「タンパク相互作用予測モデル解析演習・計算システム生物学演習」に参加します。

氏名:

所属:

e-mail:

TEL:

ご要望:

---